

同じチームでライドを楽しむ恵 衣咲さんとお父さんの大輔さん



「いろいろな所へ、自分のスピードで走れるのが自転車の魅力」と語る衣咲さん



道は未来へつながっている

2024びわこ国スポ強化選手
自転車競技 恵衣咲さん(12)



●用語の解説

- ※1 ロードバイクとは：舗装道路を高速走行するのに向いているロードレース用の自転車のこと。
- ※2 グルメライドとは：地元産のグルメを食べて楽しみながらライド(サイクリング)するイベントで全国各地で開催されている。
- ※3 クリテリウムとは：自転車のロードレースの一つで、周回コースの速さを競う。ほかにも未舗装路を走るシクロス、マウンテンなどの自転車競技種目がある。

市内在住で小学6年生の恵衣咲さんは、滋賀県から平成30年度の「第79回国民スポーツ大会少年種別強化選手」(平成30年4月～平成31年3月)に指定され、1年間研鑽を積んできました。今回は、市内でただ一人の少年女子自転車アスリートの恵さん取材しました。

合同練習やレース出場重ね めざす国スポ選手へ着々

市内在住の恵衣咲さんは、平成30年度の国スポ強化選手に指定された未来のアスリート。平成31年度も引き続き指定される予定で、2024年国スポ滋賀県代表選手の有力候補です。

普段は家族やチームと一緒に走る練習と、自宅でサイクリング(三本ローラー)によるトレーニングをしています。

公道を使った少年強化選手の合同練習への参加や、県内外で開催されているロードレースに出場して経験を積むなど、競技者としても心身を鍛えています。

衣咲さんが好きなのは坂道のあるコース。他の選手がタイムを落としてゆくより坂で順位を上げてゆくレース展開を得意としています。四日市ジュニアロードレース(全国大会)では、初めての6位入賞を果たしました。有望なアスリートを発掘す

家族や仲間とずっと続ける 自転車は特別なスポーツ

衣咲さんがロードバイクに乗り始めたのは小学校3年生の時。4年生で1泊2日のピワイチに挑戦し、5年生で日帰りピワイチを達成しました。6年生になった今年度から本格的な競技選手となりました。

きっかけはグルメリライドなど趣味のサイクリングを楽しんでいた父、大輔さん。まず兄が影

響を受け、二人の影響で衣咲さんもロードバイクを始めたそうです。現在は家族3人が「LOKO RACING」チームに所属してレースやサイクリングを楽しんでいます。

市内で自転車競技選手の小学生は衣咲さんただ一人。でも家族やいろいろな世代が集まるチームで、楽しみながら自分を鍛えてゆくクリテリウム(競技種目は、衣咲さんにとって特別なスポーツだといいます)。

遠出した時にサイクリストに話しかけられたり励まされたりするのがとても嬉しい経験になるとも話していました。

ロードバイクを楽しむ人はだんだん増えて来ます。サイクリストも競技人口ももっとも増えてくれたら嬉しいと考えているそうです。一方で、スピードとタイムを競う競技者だからこそ自転車に乗る人に「車間やカーブの攻略を考えて走る」「並列で走らない」「ヘル

メット着用」一歩行者に気を付ける「こみのポイ捨てをしない」など安全運転でルールやマナーを守って楽しんで欲しいと強く願っているといいます。

3月17日の守山野洲川クリテリウムには、衣咲さんもチームのみんなと出場します。野洲川提防の風景や集まるサイクリストとの出会いを楽しみたい、と小学校生活最後のレースを心待ちにしています。

競技もサイクリングも魅力 ルール守って楽しんで

自転車にはクリテリウムのような競技としての魅力と、もう一ついろいろな所へ、自分のスピードで、仲間や出会った人と話をしながら走れる「サイクリングの魅力があると衣咲さん

LOKO RACINGチームの皆さん



守山野洲川クリテリウム

時3月17日(日)午前8時～(競技は午前8時40分スタート)
所服部地先の特設コース(イベントは市埋蔵文化財センター駐車場)